

2011年第2四半期 連結決算概要

中外製薬株式会社
常務執行役員 CFO
板谷 嘉夫

2011.7.21/22

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注：本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示
増減、%は億円単位で表示された数字で計算

2011年第2四半期 連結決算概要

- **売上高** 1,819億円：タミフル減により微減（前同比▲0.3%）
 - タミフル：備蓄の一巡により減少
 - タミフルを除く国内製商品：
がん/骨・関節領域は堅調、腎/その他の領域の減少により低成長
 - 海外：アクテムラ輸出の牽引により増加
 - その他の営業収入：一時金等により大幅増
- **営業利益** 352億円：販管費減少により大幅増（前同比+27.5%）
 - 製商品原価率の改善と震災による販管費減により、大幅に増加
- **四半期純利益（累計）** 171億円（前同比+4.3%）
 - 特別損失76億円、うち震災影響65億円

損益の概要 1-6月実績

【億円】	2010年 1-6月	売上 (%)	2011年 1-6月	売上 (%)	増減	%
売上高	1,824		1,819		▲5	▲0.3
製商品売上高	1,806		1,748		▲58	▲3.2
タミフルを除く	1,686		1,702		+16	+0.9
タミフル	120		46		▲74	▲61.7
その他の営業収入	17		72		+55	+323.5
営業利益	276	15.1	352	19.4	+76	+27.5
営業外収益	30		13		▲17	▲56.7
営業外費用	44		4		▲40	▲90.9
経常利益	262	14.4	362	19.9	+100	+38.2
特別利益	1		-		▲1	▲100.0
特別損失	1		76		+75	76倍
当期(四半期)純利益	164	9.0	171	9.4	+7	+4.3

- 製商品売上高(タミフルを除く)
 - 国内 +3億円
 - 海外 +12億円
- タミフル* ▲74億円
- その他の営業収入 +55億円
 - GC33導出一時金
 - アクテムラ関連収入の増加 等
- 営業利益 +76億円
- 営業外収支の増加 +24億円
- 特別損失 +75億円
 - 災害による損失 +65億円
 - 資産除去債務影響 +10億円

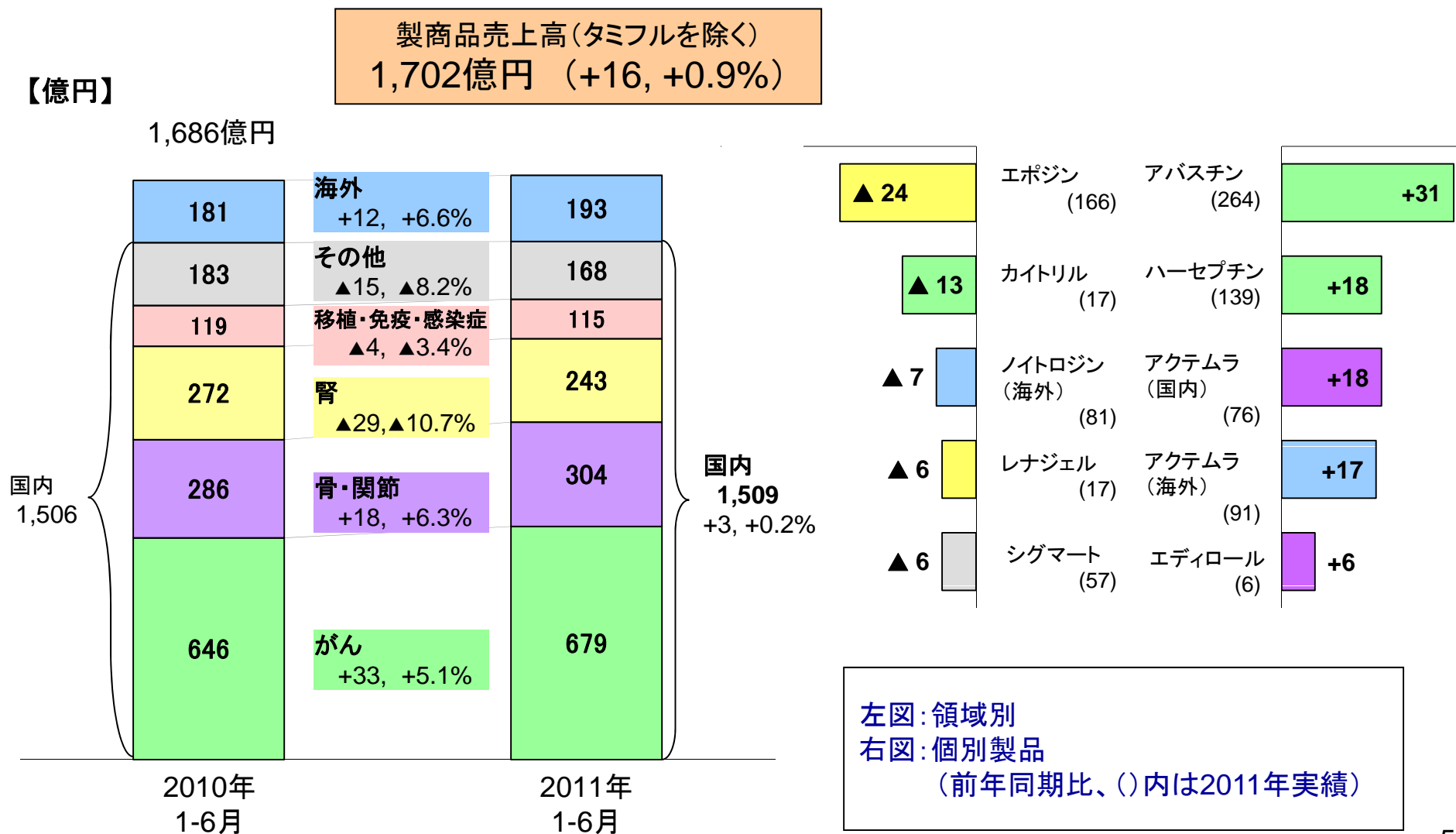
期中平均レート(円)

	2010年1-6月	2011年1-6月
CHF	84.42	90.38
EUR	121.21	114.86

* タミフル 内訳

	2010年1-6月	2011年1-6月	増減
通常	14億円	41億円	+27億円
行政備蓄等	106億円	5億円	▲101億円

製商品売上高（タミフルを除く）の増減内訳 1-6月実績



タミフルの売上状況

【億円】		決算期売上														シーズン 売上	定 点 観 測 数 (百万人)
		2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期		2011年12月期			
		1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月		
通常	2004-05	232														246	1.47
	2005-06		119	99												218	0.92
	2006-07				37	50										87	1.01
	2007-08						52	14								66	0.66
	2008-09								57	110						167	1.27
	2009-10										252	14				266	2.02
	2010-11												2	41		43	1.26
	2011-12														26		
通常		351 (+265)		136 (-215)		102 (-34)		71 (-31)		362 (+291)		16 (-346)		67 (+51)			

行政 備蓄等	2005-06		2	65												67	
	2006-07				179	189										368	
	2007-08						96	2								98	
	2008-09								11	144						155	
	2009-10										256	106				362	
	2010-11												59	5		64	
	2011-12														30		
	行政備蓄等		2 (+2)		244 (+242)		285 (+41)		13 (-272)		400 (+387)		166 (-234)		35 (-131)		

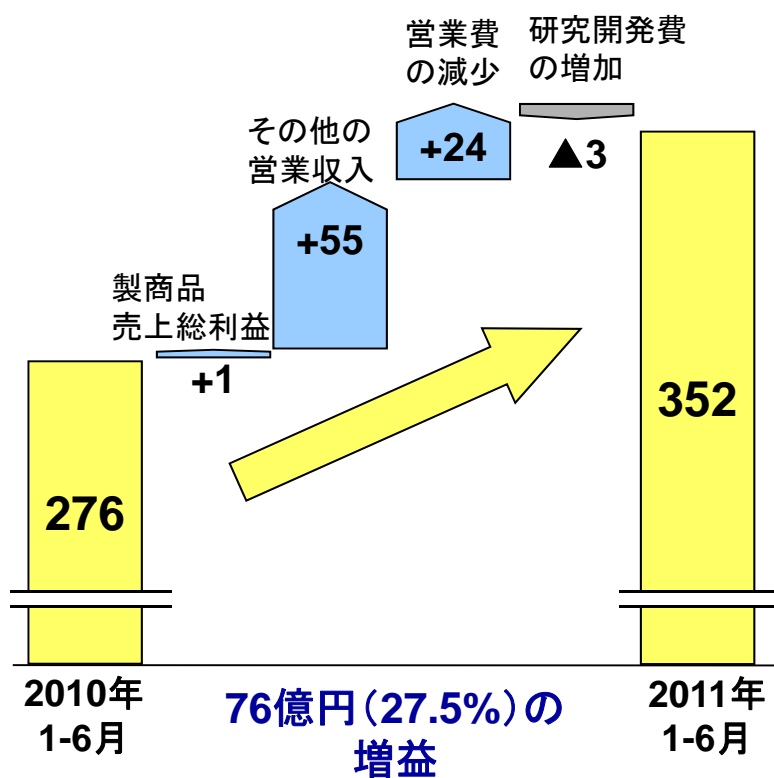
合計		232	120	163	216	238	148	16	68	254	508	120	61	46	56		
		352 (+266)		380 (+28)		387 (+7)		84 (-303)		762 (+678)		182 (-580)		102 (-80)			

黄色の網掛けは予想値、()内は前期比

* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」 10月下旬から4月中旬(2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数

営業利益の増減内訳 1-6月実績

【億円】



【億円】	2010年 1-6月	2011年 1-6月	増減	(%)
売上高	1,824	1,819	▲5	▲0.3
売上原価	805	745	▲60	▲7.5
売上総利益	1,018	1,074	+56	+5.5
うち 製商品	1,001	1,002	+1	+0.1
うち その他の営業収入	17	72	+55	+323.5
営業費	477	453	▲24	▲5.0
研究開発費	266	269	+3	+1.1
営業利益	276	352	+76	+27.5

- 製商品売上総利益の増加 +1億円
行政備蓄用タミフルの減少による原価率の改善
- その他の営業収入の増加 +55億円
GC33導出一時金 等
- 営業費の減少 +24億円
震災による営業活動への制約、ITプロジェクトの終了
- 研究開発費の増加 ▲3億円
開発テーマの進展(CSG452、T-DM1等の後期開発移行)

損益の概要 4-6月（第2四半期）実績

【億円】	2010年 4-6月		2011年 4-6月		増減	
		売上 (%)		売上 (%)		%
売上高	953		962		+9	+0.9
製商品売上高	945		944		▲1	▲0.1
タミフルを除く	933		940		+7	+0.8
タミフル	12		4		▲8	▲66.7
その他の営業収入	8		18		+10	+125.0
売上原価	395		394		▲1	▲0.3
売上総利益	558	58.6	568	59.0	+10	+1.8
営業費	249		232		▲17	▲6.8
研究開発費	144		139		▲5	▲3.5
営業利益	165	17.3	196	20.4	+31	+18.8
営業外収益	17		12		▲5	▲29.4
営業外費用	41		14		▲27	▲65.9
経常利益	141	14.8	195	20.3	+54	+38.3
特別利益	-		-		-	-
特別損失	0		5		+5	-
当期（四半期）純利益	85	8.9	121	12.6	+36	+42.4

●製商品売上高（タミフルを除く）

	+7億円
ハーセプチン	+19億円
アバスチン	+9億円
アクテムラ（国内）	+8億円
アクテムラ（海外）	+23億円
エポジン	▲12億円
カイトリル	▲6億円
レナジェル	▲5億円

●タミフル* ▲8億円

●その他の営業収入 +10億円 アクテムラ関連収入の増加 等

●営業利益 +31億円

* タミフル 内訳

	2010年4-6月	2011年4-6月	増減
通常	0億円	4億円	+4億円
行政備蓄等	12億円	-	▲12億円

損益の概要 1-6月実績

【億円】	実績	4月21日修正予想	
	2011年 1-6月	2011年 1-6月	達成率 (%)
売上高	1,819	1,900	95.7
製商品売上高	1,748	1,825	95.8
タミフルを除く	1,702	1,768	96.3
タミフル	46	57	80.7
その他の営業収入	72	75	96.0
売上原価	745		
売上総利益	1,074		
営業費	453		
研究開発費	269		
営業利益	352	340	103.5
経常利益	362	345	104.9
当期(四半期)純利益	171	125	136.8

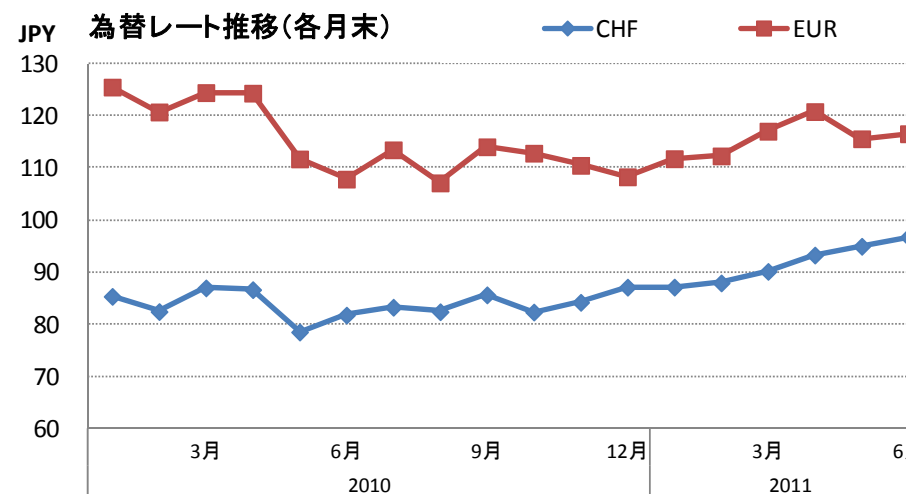
製品売上高 上期予想達成率

● タミフルを除く国内	95.8%
がん	97.8%
ハーセプチン	117.8%
アバスチン	91.7%
骨・関節	92.1%
アクテムラ	79.2%
腎	91.4%
レナジェル	77.3%
エポジン	89.7%
移植・免疫・感染症	99.1%
ペガシス	89.8%
コペガス	86.4%
その他	100.0%
● 海外	100.0%
ノイトロジン	117.4%
アクテムラ	86.7%

為替変動の影響について

	上期利益影響 (想定レート対比)
売上高	+10億円
	ノイトロジン(海外) +3億円
	アクテムラ(輸出) +5億円
	その他の営業収入 +1億円
原価・販管費	ロシュ品原価 ▲8億円
	海外販社販管費等 ▲2億円
営業利益	▲1億円
営業外収支	為替差損益・為替予約 +1億円
経常利益	±0億円

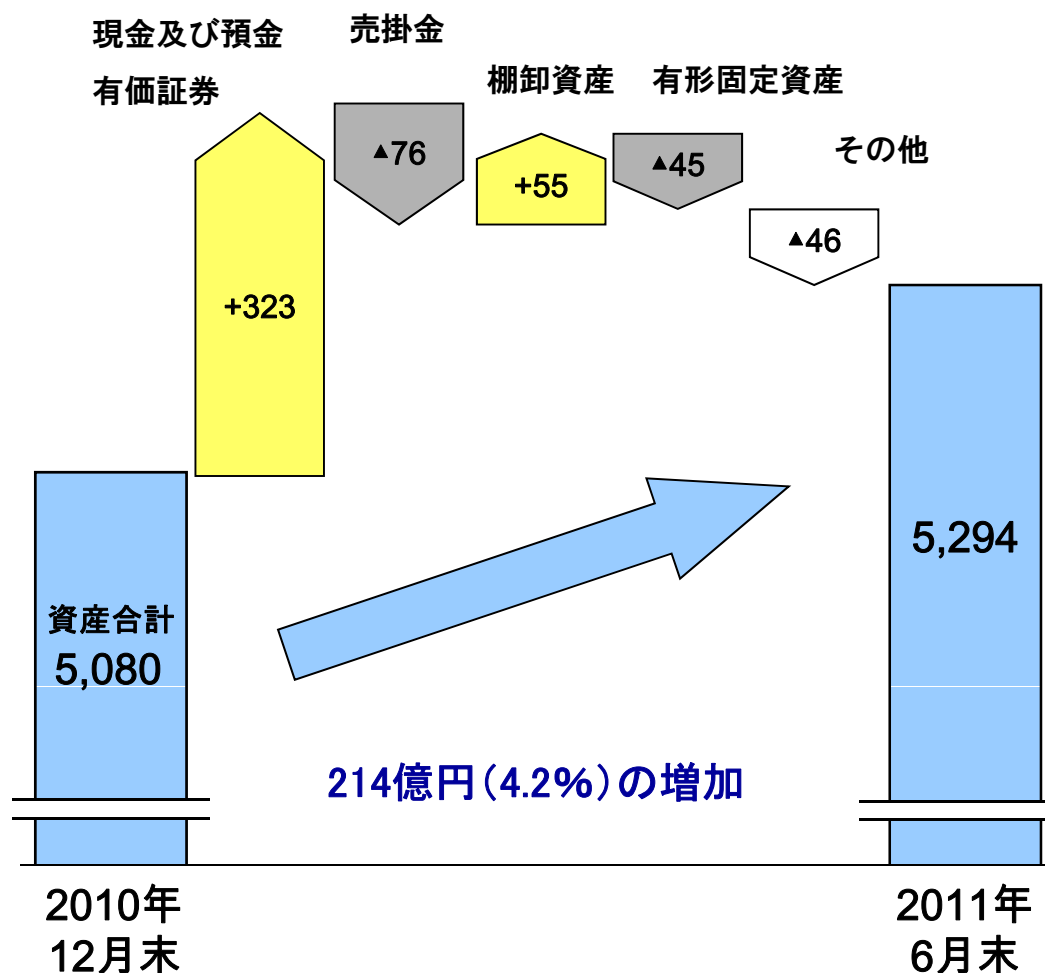
- 4月21日修正予想 想定レート (通期)
CHF: 85.00円 EUR: 110.00円
- 上期実績レート(期中平均)
CHF: 90.38円 EUR: 114.86円
- (ご参考) 月末レートの推移(CHF,EUR)



*いずれも概算

貸借対照表/資産の部

【億円】



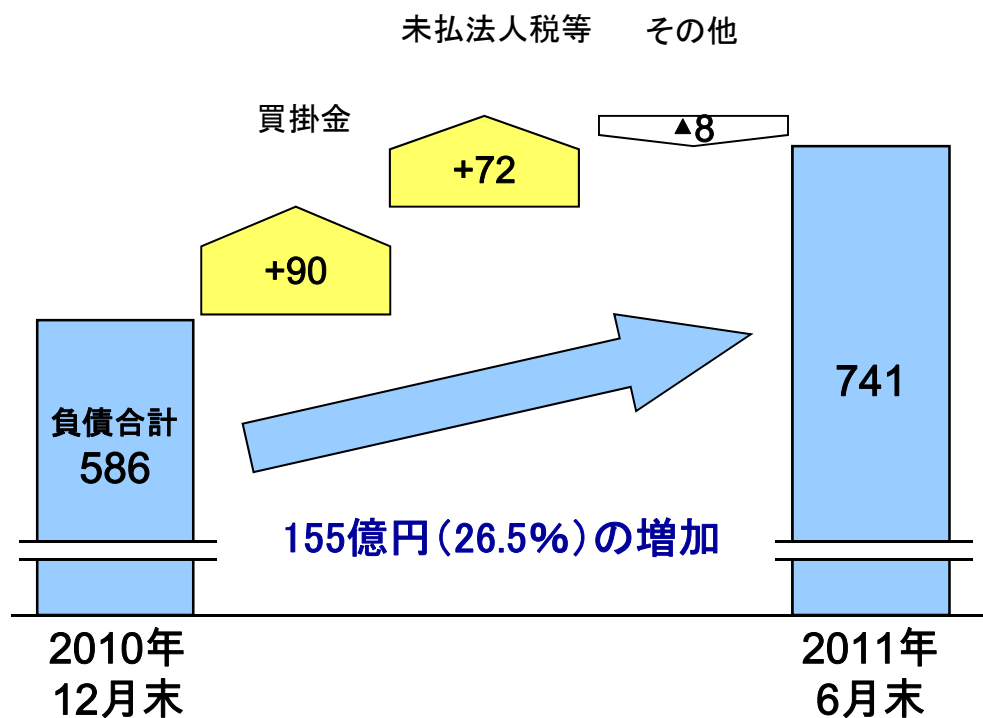
●現金及び預金 +330億円
●有価証券 ▲7億円

●売掛金 ▲76億円
季節的な要因

●棚卸資産 +55億円
ミルセラ発売準備に伴う増加

貸借対照表/負債の部

【億円】

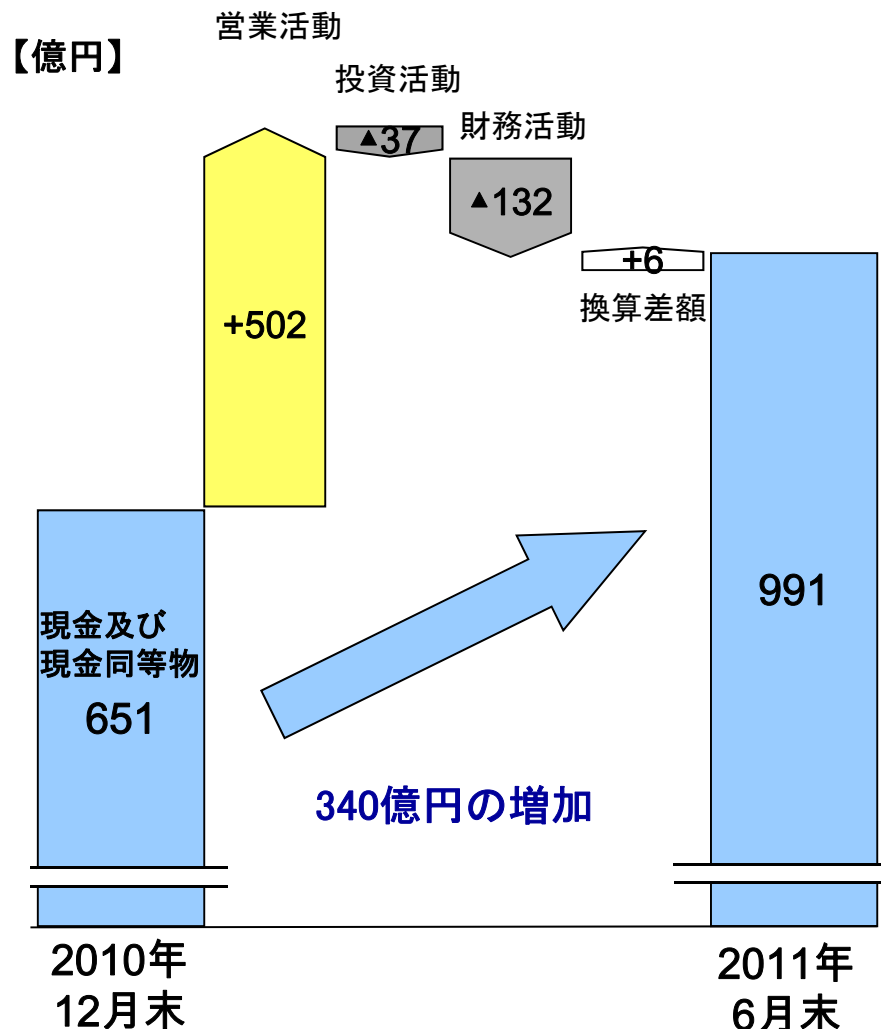


- 買掛金 +90億円
サイトチェンジ後の製造再開に伴う増加
- 未払法人税等 +72億円

自己資本比率

2010年12月末	2011年6月末	増減
88.0%	85.6%	▲2.4%pts

キャッシュ・フロー 1-6月実績



●営業活動に伴うキャッシュ・フロー	+502億円
税前純利益	+286億円
減価償却費等	+72億円
運転資本の増加	+102億円
売上債権の減少	+77億円
たな卸資産の増加	▲65億円
仕入債務の増加	+90億円
法人税等の支払	▲29億円
●投資活動に伴うキャッシュ・フロー	▲37億円
定期預金の預入/払戻	+17億円
有価証券・投資有価証券の取得/売却	+7億円
固定資産の取得	▲61億円
●財務活動に伴うキャッシュ・フロー	▲132億円
配当金の支払	▲125億円

業績予想の修正内容

■ 上期業績および震災による影響を反映

- 売上高: 主力品の状況およびミルセラの売上見込を反映
- 販管費: 上期状況を踏まえ減額
- 為替レート: 直近の円安状況を反映し、スイスフラン想定レートを1CHF=95.00円に修正（旧想定85.00円）

■ 災害による損失（特別損失）通期見込：約75億円

設備関連費用、棚卸資産とも損失見込額が減少

- 建物・設備の除却、解体、修繕費用等 約45億円
- 棚卸資産損失、休業中の固定費等 約30億円

■ 法人実効税率

繰延税金資産再評価による一時的な損失を見込む

- 期初の減税想定を維持

損益の概要

【億円】	実績	2011年1-12月予想		
	2011年 1-6月	4月21日 修正予想	7月21日 修正予想	修正額
売上高	1,819	4,030	3,952	▲78
製商品売上高	1,748	3,917	3,845	▲72
タミフルを除く	1,702	3,795	3,743	▲52
タミフル	46	122	102	▲20
その他の営業収入	72	113	107	▲6
売上原価	745	1,678	1,672	▲6
売上総利益	1,074	2,352	2,280	▲72
営業費	453	1,010	980	▲30
研究開発費	269	592	580	▲12
営業利益	352	750	720	▲30
経常利益	362	755	731	▲24
当期(四半期)純利益	171	370	370	-

●製商品売上高(タミフルを除く)

	▲52億円
ミルセラ	+124億円
エポジン	▲87億円
アバスチン	▲24億円
アクテムラ(国内)	▲19億円
アクテムラ(海外)	▲20億円

●タミフル

▲20億円

●営業利益

▲30億円

●7月21日修正予想 想定レート(下期)

CHF: 95.00円 EUR: 110.00円

為替変動の下期営業利益への影響度
 想定より1円円高の場合(概算)

CHF	+2億円
EUR	▲0.3億円

開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社
常務執行役員
ライフサイクル マネジメント・マーケティングユニット長
田中 裕

2011. 7.21/22

開発パイプライン（2011年7月現在）

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
がん	AF802 - 非小細胞肺癌 (PI/II) CIF/RG7167 - 固形がん CKI27/RG7304 - 固形がん GC33 - 肝がん MRA/Actemra - 膵がん (PI/II) PA799 - 固形がん WT4869 - 骨髄異形成症候群 (PI/II) GA101/RG7159 - 非ホジキンリンパ腫	RG435/Avastin - グリオブラストーマ(再発例) RG1415/Tarceva - 肺がん (1 st line)	RG435/Avastin - 胃がん - 乳がん (アジュバント) - グリオブラストーマ RG1273/pertuzumab - 乳がん RG3502 (T-DM1) - 乳がん★	EPOCH/Epogin - CIA RG435/Avastin - 乳がん RG1415/Tarceva - 膵がん★
骨・関節	SA237 - 関節リウマチ	RG484/Bonviva (oral) - 骨粗鬆症	MRA/Actemra - 関節リウマチ (sc) RG484/Bonviva (inj) - 骨粗鬆症(PII/III)	MRA/Actemra - sJIA (欧州)
腎				RG744/Mircera - 腎性貧血★
その他	RG1450 - アルツハイマー病 RG7090 - 大うつ病★ RG7128 - C型慢性肝炎★		tofogliflozin(CSG452) - II型糖尿病 RG1678 (GLYT1) - 統合失調症	RG442/Pegasys - B型慢性肝炎 RG442+RG964/Pegasys + Copegus - 肝硬変★

オレンジ: 自社品
 ピンク: 承認を取得した品目
 ★: 2011/4/21からの変更点

開発の状況ーがん領域

導入品

タルセバ

膵がん 2011年7月 承認

導入品

T-DM1 (RG3502)

乳がん 2011年5月 P3国際共同治験開始

自社品

TP300

胃がん等 開発中止

当初予定した有効性基準に達しなかったため

開発の状況－ 骨・関節領域、腎領域

自社品

アクテムラ（台湾）

関節リウマチ 2011年7月 承認

導入品

ミルセラ

腎性貧血 2011年7月 発売

開発の状況ー

移植・免疫・感染症領域、その他

導入品

ペガシス/コペガス
C型代償性肝硬変 2011年7月 承認

導入品

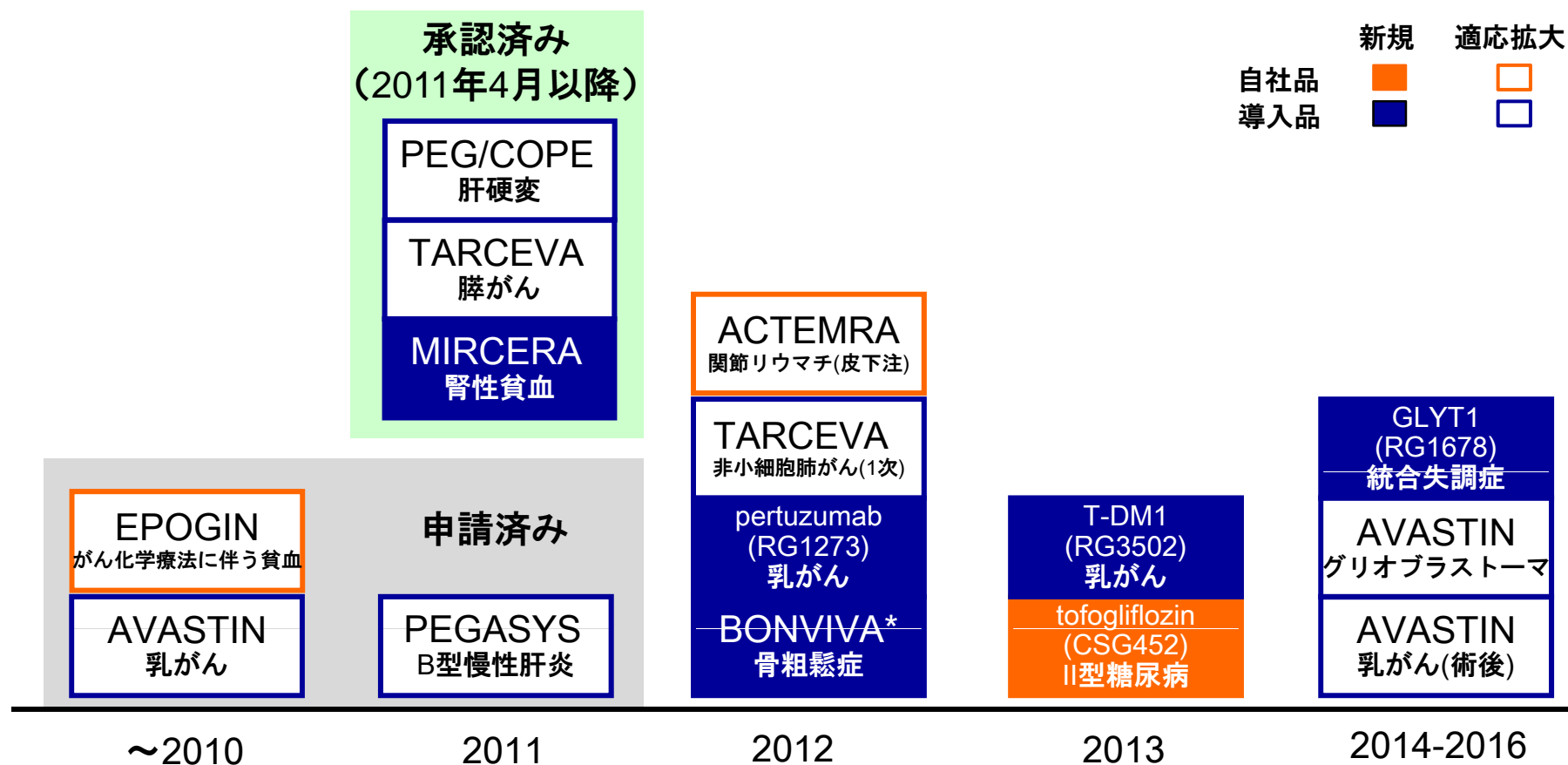
RG7090 (mGLuR5 アンタゴニスト)
大うつ病 2011年6月 P1開始

自社品

tofogliflozin (CSG452)
2型糖尿病 2011年7月
ロシュが海外開発・販売権を返還
海外開発については導出活動を実施

今後の申請予定（PoC取得済製品・開発品）

- 2012年以降も毎年、新製品/適応拡大等を申請予定

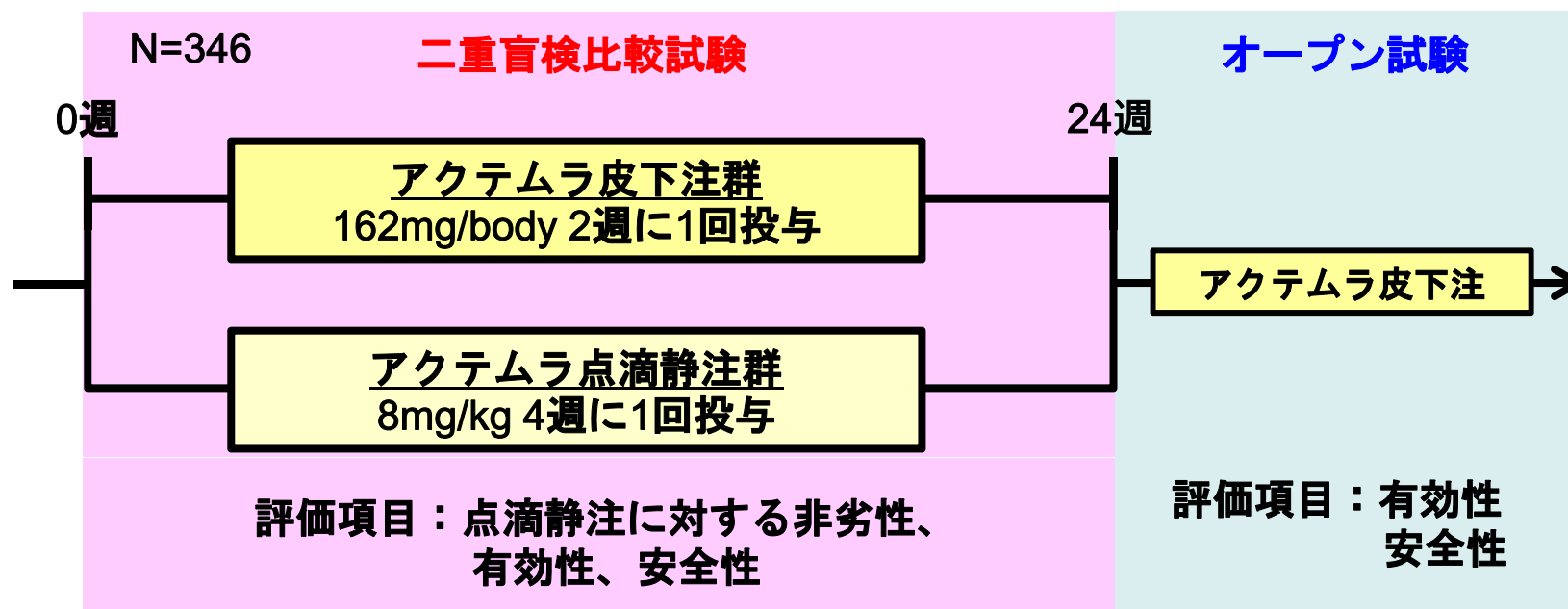


*海外製品名

アクテムラ皮下注製剤 国内P3キーオープン

■ 試験概要

- 関節リウマチ患者においてアクテムラ皮下注の点滴静注に対する非劣性を検討する



■ 国内P3試験結果の概要

- 24週時のACR20改善率により、皮下投与の静脈内投与に対する非劣性が示された
- 皮下注製剤の安全性プロファイルは、これまで認められたものと大きな相違はない

■ 申請予定 2012年

未承認薬・適応外薬の開発要請への対応状況

■ 未承認薬・適応外薬検討会議

医療上の必要性が特に高い未承認薬・適応外薬について開発要請
当社は下記8品目10適応が該当

開発要請	製品	適応症	現在の開発状況
2010年5月21日 開発要請分	ゼローダ	進行再発胃がん	2011年2月承認
	タルセバ	進行再発膀胱がん	2011年7月承認
	アバスチン	進行再発乳がん	2009年10月申請
	pulmozyme	嚢胞性線維症における肺機能の改善	2011年7月申請
2010年12月13日 開発要請分	ハーセプチン	HER2陽性転移性乳がんにおける 3週間1回投与の用法用量追加	2011年5月公知申請
	ハーセプチン	HER2陽性乳がんに対する術前化学療法	
	セルセプト	小児腎移植	
	アバスチン	卵巣がん	対応検討中
	カイトリル	放射線照射に伴う消化器症状	公知申請準備中
	バクトラミン	ニューモシスティス肺炎の治療及び予防	公知申請への該当性について有識者会議で検討中

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：相川、広瀬、荒木、宮田

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、渡辺、時田、喜多村